

## 錫杖岳 左方カンテ・1 ルンゼ・3 ルンゼ 山行記録

■日時：2019年9月13日（金）夜出発～9月16日（月）帰阪

■メンバー：中嶋宏幸、西川高士（記録）

■山域：錫杖岳

■カテゴリ：アルパイン無雪期

■山行概要：

- ・9月14日 中尾高原口駐車場（5：30）～錫杖沢岩舎 BC～左方カンテ取付き（9：00）  
～7ピッチ終了点（11：30）～注文の多い料理店側を下山（12：30）
- ・9月15日 錫杖沢岩舎 BC（5：30）～1ルンゼ取付き（6：00）～7ピッチ終了点 10：00  
～同ルート下山（11：30）
- ・9月16日 錫杖沢岩舎 BC（5：30）～3ルンゼ取付き（6：15）～7ピッチ終了点（9：00）  
～同ルート下山（10：00）～テント撤収～中尾高原口駐車場（12：00）

■詳細：

### 9月13日(金)

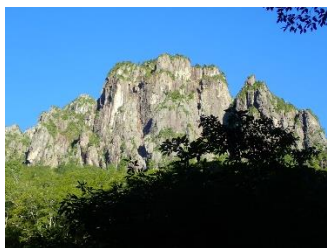
新大阪駅のレンタカー店 21：00 に中嶋と待ち合わせて、中尾高原口の駐車場に向かう。3連休のため多少の渋滞を覚悟していたが、混雑することなく 2：30 頃に駐車場に到着。駐車場は満車に近くぎりぎり 1 台分置けた。この駐車場からは錫杖岳に向かうクライマーと一般登山道で笠ヶ岳に向かう登山者が起点としている。

### 9月14日(土) 左方カンテ

空が白み出す 5：00 に起床、天気は晴れ。車内で準備を整えて 5：30 に出発。槍見館裏で登山届を提出し、一般登山道でクリヤ谷沿いを登る。1 時間ほど歩いた辺りで渡渉箇所があるが、水量はそれほど多くなく靴を脱がず渡ることができた。歩いている途中でこれから 3 日間登る前衛フェースの全体像が見えてきた。予習してきた通り一番左のカンテが左方カンテ、左 1/3 くらいのルンゼが 1 ルンゼ、右の大きく凹んだところの下が 3 ルンゼ。出発から 1 時間半ほどで錫杖沢出合に到着。ここで BC を考えていたが、5 張りほどのスペースには既にテントが脹れて埋まっていた。1 張りできる錫杖沢岩舎が空いていることを祈り、錫杖沢遡上。1 時間弱ほど沢通しで登ったあたりに岩がせり出した錫杖沢岩舎を発見でき、無事テント設営が完了。スペース的には 4 テンがギリギリくらいのスペース。早速登攀の準備をして、左方カンテ取付きに向かう。BC から 15 分ほどで取付きの広場に到着。順番待ちすることもなく、登攀開始。1 ピッチ目凹角を中嶋さんリード、2 ピッチ目西川リードでピナクルの支点でピッチを切る。3 ピッチ目中嶋さんリードで出だしのやや被ったところを錆びたハーケンにヌンチャクをかけてビビりながら A0 で超える。ここがこのルートで一番怖かったと思う。4 ピッチ目西川リードで狭いチムニーの中をザックを股下にぶら下げて通過。6 ピッチ目がこのルートの核心。西川リードで A0 で通過するが、中嶋さんをここを A0 を使わずにフリーで登ってきたと言う。さすがです！ 最後の 7 ピッチ目は、登られないことも多いみたいだが、初めての私は体験してみたい思いで登攀することをリクエストをして中嶋さんリード。ここではスラブを登るがこの岩がいつ剥がれるか分からないような不安定さ。岩を叩きながら慎重に登り草付きに出て登攀時間 2 時間半で終了。6 ピッチ目の終了点まで懸垂下降し、その後は注文の多い料理店側に懸垂下降。途中には核心部のクラックを登るクライマーを横目に見て、いつかは登ってみたいという気持ちと恐ろしそうという気持ちを感じながら、全部で 4 ピッチの懸垂下降で錫杖沢に着地。BC のテントまでは 15 分ほどで下山。快適すぎる BC です。



[槍見館裏の登山ポスト]



[登山道から錫杖岳前衛フェース]

## 9月15日(日) 1ルンゼ

4時に起床しは明るくなる5時半にテントを出発し20分ほどで1ルンゼ取付きに到着。1ピッチ目ルンゼ左のフェイスを登るも途中でプロテクションを取れそうなところもなく、緊張感のあるクライミングが続き、35m付近で安定したテラスと低い灌木を見つけて、たまたらここでピッチを切るが、その後10数mで2ピッチ目の明瞭な終了点があり、どうやら1ピッチ目と2ピッチ目はつなげて登ることが多いことが分かった。2ピッチ目終了点では、ショートカットのバンドで登ってきた3人パーティが、3ピッチ目から登攀をしているところであった。このパーティはこのルートを熟知しており、先行していただくことでルートファインディングに時間を費やすことなくその後、スムーズに登ることができた。3ピッチ目はトポでは凹角をV字岩手前まで行くのだが、最近の正解は途中の側壁を左上したところにビレイ点が作られていた。4ピッチ、5ピッチはルンゼから左に離れ、最終7ピッチで終了点に。下降は同ルートを懸垂で下降するが、我々の後ろに4パーティほどが登ってきており、ロープを抱えながらの懸垂となるが、この懸垂方法が慣れてないうちはロープが絡みやすく下降するのに苦労した。また、途中屈曲したところを懸垂で降りるときにはロープが岩に挟まりセカンドで降りて来た中嶋さんに直してもらいながら下降を行った。懸垂のときはロープがまっすぐになるように降りないと後でロープの回収が難しくなることが分かった。このルートに要した時間は先行パーティの待ち時間や下降時に手間取ったこともあり、登りで4時間、下降で1時間半ほどかかった。



[取付き点から1P目]



[5P目]



[6P目の開けたスラブ]



[7P目のチムニー]

## 9月16日(月) 3ルンゼ

1ルンゼの取付きから更に岩伝いについている踏み跡を左に下り5分ほどで3ルンゼの取付きに。準備をして6時過ぎスタート。この日3ルンゼには前にも後にも他パーティの姿は見えず我々だけであった。1ルンゼと違って、3ルンゼはずっとルンゼ内を登攀するための全体的に暗いイメージ。4ピッチ目までは比較的傾斜の緩いルンゼ内を登る。そして5、6ピッチ目で傾斜が立ってきて、人工混じりの登攀となる。5ピッチ目に西川リードで行くが、まだ人工に慣れていないため、シュリングでアブミをつくりながら超えることがなかなかできずに苦労したため、腕がパンプしそうになってしまった。6ピッチ目に中嶋さんが人工で超えていくのを見ながら、人工での登り方を学べた。このルートは全体に短く、他パーティもいなかったもので、3時間ほどで登り、同ルートを1時間ほどで下降し、10時半頃には取付き点に戻り、その後、テントを撤収し下山。下山中に錫杖沢左岸側についている登山道で上がってきたときに錫杖沢岩舎を見つけられるように確認を行う。随所に赤リボンがついており、途中で大きく右折して沢から離れる辺りに錫杖沢岩舎がある。



[取付き点から1P目]



[錫杖沢右岸の登山ルートのリボン]

## ■感想・反省

初めての錫杖岳の登攀であったが、駐車場からのアプローチの近さやBCの近さのため、アプローチと下山に苦労することなく、3連休を使ってフルに3本ものアルパインクライミングが楽しむことができた。特に関西、名古屋地

区からのアクセスが良い岩場であった。今回はその中でも初級者向けルートを3本登ったが、今後腕を磨いて「注文の多い料理店」などの他ルートにもチャレンジしてみたいと思った。

今回の登攀で私が感じた反省点であり学びが2つあります。1つ目は懸垂下降に関して、ロープを抱えて下るときにスムーズにロープが出るように捌くことと、ロープが屈曲したりして岩角などに引っかからないようにロープがまっすぐになって降りられているかを確認しながら降りること。2つ目は人工で登るときに腕に力が入りすぎない体制でアブミなどの設置作業を行うこと。こうやって実体験から得られた学びは貴重であり、これからの本チャンの経験を積みながら、成長していきたいと思います。